

Withコロナと防災活動

今回は『鬼滅の刃』から学ぶ防災活動です。空前のヒットとなり社会現象を巻き起こし良い意味でのブームへ成長した『鬼滅の刃』。なぜ多くの人から熱狂的な支持を得たのかを分析し新たな防災活動への学びにしたいと考えます。



人気がありブランド化された人気マンガは『鬼滅の刃』だけではありません。過去から今に至っても人気マンガは数々あり、現在進行形では「ONE PIECE」がその対極にあるのでは無いかと考えられます。それはなぜかと考えれば「ONE PIECE」は加算型のステージクリア方式。その反対に『鬼滅の刃』はゴールから導く逆算方式だと考えられます。バトルマンガやバトルゲーム等と呼ばれるものは、同じくステージクリア方式と逆算方式に大別できるのです。ステージクリア方式は敵を倒すごとに強さが加算され、強い敵が現れれば現れるほどに強くなり永くストーリーを継続することができます。ところが逆算方式は「**ゴールを最初に定める**」為、永くストーリーを継続させないという傾向が見られます。皆様がよく知る人気マンガでは、ステージクリア方式では「ONE PIECE」「ドラゴンボール」。逆算方式では「鬼滅の刃」「鋼の錬金術師」が代表されます。ステージクリア方式のマンガは単行本50巻越であるのに対し、逆算方式は単行本25巻前後で完結するのがボリューム的に適正だと言われています。ステージクリア方式でのバトルシーンは長ければ長いほどにワクワク感が増し、戦い自体がひとつの伏線ストーリーにもなります。逆算方式では、伏線を広げ過ぎてしまうと、伏線回収により目指すゴールが薄まり別物になってしまう欠点もあるが、目指すゴールが近づけば近づくほどに終演を楽しむ人が現れ、ボリュームが小さいことで新たなファンを生み出しやすくなるというメリット(利点)もあります。ボリュームが大きすぎると単行本を買うにも費用的に無理だと引いてしまう人がいるデメリット(欠点)にもなるのです。しかしながら、どちらも『**良いもの**』なのですが、短期的なブランディング化(成長に欠かせない戦略)は逆算方式の方がやりやすい傾向にあると考えられます。



コロナ禍という時代に於いて『鬼滅の刃』が、どのように我々の心に強い共感を与えたのかといえ、この物語にある「**強い思い**」だと考えられます。それも漠然とした正義感ではなく「**自分の大切な人を守りたい**」ただこれだけです。これは誰もが身近な感情・感覚が感情移入しやすく共感を得やすかったと考えられ

ます。この「**共感**」は日頃マンガやアニメを見ない人の心にも届きやすかったと考えられるのです。

鬼滅の刃21巻181話に、鬼舞辻無惨の『**私に殺されることは大災に遭ったのと同じだと思え。雨が風が山の噴火が大地の揺れが、どれだけ人を殺そうとも天変地異に復習しようというものはいない**』と言い放つ言葉。ここには我々を取り巻く昨今の**大災害**と重なるように感じるのだと思われます。コロナ禍で今まで当たり前とっていたことが奪われ、当たり前の日常がなくなる経験。毎年繰り返してきた地域の恒例行事・イベントがなくなるだけではなく、家族と会うことすら許されない日常を生み出したコロナ。これにより「**人として、生きることの大切さの概念を覆させられ、心に痛みすら感じる変革、出口も見えない暗中模索の不安**」。多くの方が心の支えを探している時に、時として現れた『鬼滅の刃』に共感と、見えぬ答えを探る生きる道標を重なり合わせているようにも思える。

これらの考察から『**自主防災組織**』の育て方が読み取れます。災害発生に対応するスキルを身につける『**ステージクリア方式の防災組織**』と、守るべきものを定義し活動する『**逆算方式の防災組織**』。さて、皆さんの地域ではどちらのタイプなのでしょう？グリーンシティ防災会は『**逆算方式の防災組織**』です。自分の大切な人を守る為に防災活動をすると掲げる。それに向けて「**自分がやれることを自分のやれるスタイルで、自分がやれる範囲でやる。そのスタイルと範囲を少しずつ広げる。**」というゴールが定義された典型的な逆算方式なのです。我々は一年を一単位。コミックなら一巻です。これを23年間という23巻を一幕と考えたのは、偶然ではありますが事実なのです。でも第二幕は始まっています。新しいステージであり、新しい物語のはじまりを迎えています。防災会だけではありません。きっと皆様の**防災心**も新しいステージに踏み出していることでしょう。何故なら『**自分の大切な人を守ることは防災**』。このことにはなんの揺らぎもないグリーンシティ共通共有の財産だからです。

もう一つ大切な言葉が『鬼滅の刃・第一巻』にあります。水柱・富岡義勇の言葉『**生殺与奪の権を他人に握らせるな!**』から始まる言葉。「生殺与奪の権を他人に握らせるな!…奪うか奪われるかの時に主導権を握れない弱者が妹を治す?敵を見つける?笑止千万!」本当に厳しい言葉ですが、我々が目指してきた根幹にある**防災定義**と一致します。災害ごときに大切な人の命をもてあそばれてはいけません。**災害側に生殺与奪の権を握らせてはいけません**のです。次回に続く!